



ウッキンで世界の人々の健康を実現したい！

ウッキンとの出会い
西表島に移住してウムザーウッキンと出会ったわけですが、民家の軒先に植えてあったりするんです。島のおじいに見せてもらったとき、あまりの美しさに驚きました。これをぜひ自分でも作ってみたい！と。色からの連想ですが、土の中から黄金の塊が出てきたようなインパクトでした。島民は昔からこのウッキンを健康のために食っていました。土の中からできたこのウムザーウッキンを見たその瞬間、恋に落ちてしまったと言えるのかも。そこから、「もっと多くの人に知ってもらいたい」という想いのもと、自己流で粉末にして販売しはじめたのが最初です。僕にとってウッキンは「神様が人間にくれた黄金のプレゼント」。

Spring Turmelic in Iriomote Island

沖縄県・西表島の春ウコン「ウムザーウッキン」が世界の救世主に？

「春ウコン」という名前を聞いたことはありますか？
2012年のいま、最も注目を集める素材の一つである春ウコンを知ってもらおうべくスタートしたこの企画。第一回目となる今回は、日本における春ウコンの産地である沖縄県の西表島で農家を営む石原和義さんにお話をうかがいました。

インタビュー／今津みなみ 文・構成／大崎暢平

今、2010年に起ち上げたウッキンプロジェクトを進めています。「ウッキンが世界人類の平和を作る」という理念です。その第一歩として、まずは西表島で農業に従事する人を守っていきたいんです。島の誇りであるウムザーウッキンで生計を立てることができると、島の復興が実現し、島の人の魂の復興を目指すことが目標です。なぜなら、この島の農業はどうしてもサトウキビと畜産に依存してしまっています。国から支給される補助金もそこへ偏るという現状。農業や化学肥料を使わない農業を選択したくてもできない農家が大半です。そんな中で、昔から身近にあって親しんできたウコンを

ウッキンを食べるとお酒に強くなって、量が飲めるようになります。「酒飲みはウッキンを飲ますな」という言い回しが沖縄にはあるくらい。体全体に効果がある感じがして、酸化しない体を作るのに役立つ食材です。春ウコンと秋ウコンの違いとしては、秋ウコンはもともと食品として親しまれてきたという点があります。カレーに使用するターメリックは秋ウコンです。一方、春ウコンは西表島でも薬として重宝されるように生薬という扱い。今は肝機能が高めるクルクミンの含有量が多いことから、秋ウコンが注目されていますが、本当は春ウコンこそ体に効果を発揮するものなんです。



西表島の春ウコンとは？

春ウコンとは西表島では「ウムザーウッキン」という名で親しまれています。ウムザーとは「イノシシ」のことであり、ウッキンとは中国語の春ウコンを意味する「鬱金」に由来します。西表島に生息するイノシシが滋養強壮のために春ウコンを食べることから命名されました。外来種と混じることなく栽培され続けるウムザーウッキンは、世界最高級の春ウコンとして名高いのです。

西表島で春ウコンを育てて13年

西表島で春ウコンを育てている石原和義です。皆からは「カズさん」と呼ばれています。バブルの時代に東京で働いていたとき、「自給自足の生活がしたい」という若い頃からの憧れから長野へ移住して5年間を過ごしました。そして、自分に適した場所を求めて沖縄県の西表島へ。もともと沖縄出身であり、両親が先に西表島に移っていたことから、この地と生まれた縁によって「ウッキン」とも出会えたのです。



ウムザーウッキンにゼオライト配合の「ゼトックス」がプラス!

ウッキンエッセンシャルウォーター
30ml 4,500円(税込)
成分：天然ゼオライト、春ウコン、フルボ酸、天然水、海洋深層水

沖縄では長寿薬として砂金と交換されるほど貴重な春ウコン。昨年には、「春ウコンは秋ウコンと異なり酸化を抑える強い作用がある」という、長年にわたる臨床研究結果が発表され注目を集めました。春ウコンとゼオライトが融合した「ウッキンエッセンシャルウォーター」は、今後注目のアイテムとなること間違いなし!

栽培することで、みんなが幸せになるようなビジネスモデルが形成できると考えています。今はまだ西表島の農家の方々は「ウッキンがお金になるのか？」と半信半疑です。もともとウッキンは安い価格で買いたたかれてきた作物なので無理はありません。今回、ウコンを島の人が生計を立てられるような適正価格で買っていたら、ここから雇用が生まれ、ウッキンに関わる人すべてが豊かになっていく。「ウッキンでいきいき」とは、使う人だけでなく作る人にとってもそうですね。



12月

こちらは収穫したばかりのウッキンを手洗したものです。美しい黄金色です!



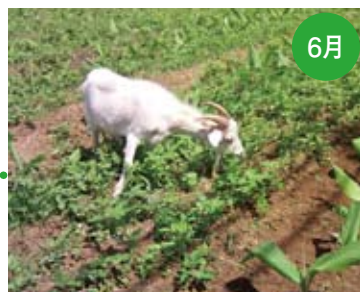
11月

ウッキンの葉っぱが完全に枯れたら収穫が始まります。これは収穫直前のウッキン畑の風景。



8月

ウコンの天敵は実は暑さ! 土が固くなって草取りが大変なので、干ばつはウコン栽培においては天敵。ただ、ウコンという植物は、実は雨さえ降ってくれたら回復力は高いんです。



6月

除草作業に強力な助っ人が登場! ヤギは雑草だけを食べてくれるのです。ウコンは環境さえ整えばどんな土でもできるんですよ。



4月

今年の植え付けもはじまりました! 元気に顔を出してくれています。

カズさんのウッキン育成日誌

ウッキンは西表島のカズさんの農園でどのように栽培されているのでしょうか。2011年のウッキン畑の様子を写真とともに振り返ります。この号が出る頃には収穫も無事に終わってますよ!